



社会福祉法人 済生会支部
富山県済生会

富山県済生会富山病院

〒931-8533 富山市楠木33番地1
TEL 076(437)1111 FAX 076(437)1122
医療福祉支援センター

TEL 076(437)1120 FAX 076(437)1131

<http://www.saiseikai-toyama.jp/>



たすき

TASUKI



新年のご挨拶

富山県済生会富山病院
院長 堀江 幸男



あけましておめでとうございます。

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より当院の活動にご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、昨年も新型コロナウイルス（COVID-19）感染症に振り回された年になり、当院も日常の診療と輪番時間帯での救急患者受入れに加え、発熱外来や

COVID-19感染症病棟での診療とワクチン接種を行ってきました。しかし、昨年11月に行動制限緩和の方針が決定され、12月に入ってから2類から5類への引き下げの議論が本格化しています。3年ぶりに行動制限のない今回の年末年始は、各地で混雑したことを皆さんご存知の通りです。

さて、「ウィズコロナ・ポストコロナ」での医療・介護・福祉を取り巻く環境は、COVID-19感染症の傷跡に加え、既に迎えている少子超高齢社会によって大きく変化すると言われています。要介護者の増加、とりわけ認知症高齢者の問題、再発・重症化の増加と多疾患併存の増加、低・非侵襲性医療の適応増加、QOL重視や支える医療への転換、日中独居老人の増加と老々介護の問題など、枚挙に遑がありません。今まさに転換点に直面していると考えます。

そこで、済生会の理念、すなわち「施薬救療」の精神の下、当院が今年取り組む重点項目は、救急・重症患者受入れに向けた「高度急性期病床の再構築」と「救急処置室の拡張整備」、在宅医療での連携強化に向けた「院内回復機能の再構築」と「訪問看護ステーションの機能拡張」、そして地域社会での安心・安全に資する「災害拠点病院の承認に向けた取り組み」と「生活困窮者への援助の積極的推進」です。済生会が捉える生活困窮者は単に経済的支援を必要とする人に留まらず、制度の狭間で支援が受けられない人も含めた「社会的な支援を要する人」と定義づけています。さらに、生活習慣病の発症・重症化予防の徹底と、高齢者特有の健康課題に対応する健診・保健指導と予防医療は、いずれも重要な課題と位置付け、健診-予防管理センター（仮称）の新築を予定しています。

「地域住民の健康寿命の延伸」と「健康障害を抱える人々の生活の質向上」そして「働きがいのある職場環境の形成」をビジョンに掲げ、これからも邁進します。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



新年のご挨拶

富山県済生会富山病院
副院長、医療福祉支援センター部長
亀山 智樹



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、当院の地域連携にご協力いただきありがとうございました。

本年も引き続きよろしく願いいたします。

2019年に発生した新型コロナウイルス感染症は、世界中で感染爆発を引き起こしました。すぐに終息するだろうとの甘い期待は裏切られ、以後今日まで3年にわたり社会生活、経済活動、人事交流はこれまでにない制限をうけています。加えて、世界中で紛争や社会の分断が問題になっています。これらは、人々の心や身体に悪影響を及ぼしています。

幸い、新型コロナウイルス感染症はワクチンを含む予防と抗ウイルス薬を含む治療の進歩、正しい情報の普及に加え、短期的死亡率が低下してきたことから、徐々にウィズ コロナへの転換が始まり、制限も緩和されつつあります。しかし、昨夏から超過死亡数が増加してきた、ポストコロナに心血管病が増加している等の報告もあり、まだまだ完全終息は見えず、国際紛争や社会の分断も続いております。

このような時代だからこそ、済生会設立の原点に立ち返り「医療を受けることができないで困っている人達に施薬救療の途を講ずる」ため、地域医療での病院の役目を果たしてまいります。今年が、干支の卯（うさぎ）にかけて飛躍の年となり、すべてが好転する年となることを願っております。



新年のご挨拶

富山県済生会富山病院
看護部長 瀬山 尚子

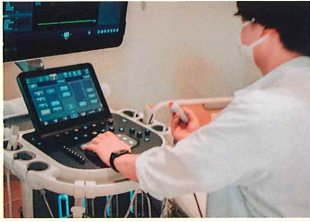


約100年前の日本人の平均寿命は、男性42.06歳、女性43.20歳、それが今や医療技術の発展や公衆衛生の改善で、男性は81.47歳、女性は87.57歳となりました。百寿者も2022年は9万人を突破しました。3年前からのコロナ感染で各国の平均寿命がやや低下しているものの私たちはこの長い人生を歩むことになります。そのため、日常生活の制限なく日々を送ることのできる健康寿命の延伸を課題とし、国をあげて様々な取り組みが進められています。しかし病を抱えた場合、最期をどう過ごしたいか考えそれを伝えているでしょうか。日頃から家族間でなかなかアドバンス・ケアプランニングについて話し合いがすすんでいない現状が垣間みえます。今年度は、かかりつけ医、病院、訪問看護ステーションが連携強化し、アドバンス・ケアプランニングについてさらに理解を深め、それぞれが良い人生であったと思える環境を提供していきたいと考えています。医療者側が命の線引きをすることはあってはなりません。平均寿命が延伸していく今、患者・家族が納得して穏やかに老年期を過ごすことができる様、皆様の協力を得ながら支援していきたいと考えます。今後ともよろしく願い申し上げます。

臨床検査科の紹介

臨床検査科は、生理機能検査11名、輸血検査1名の病院職員と検体検査BML(外部受託)で構成された部署です。

生理機能検査



心電図・呼吸器機能検査・その他の一般生理機能検査や超音波検査など多種類の検査を行っており、各種様々な専門技師・認定技師が日々検査に励んでおります。

腹部体表超音波検査では外来患者さんの検査に加え、検診の腹部エコー検査や乳腺エコー検査にも力を入れております。循環器超音波検査では通常業務に加え、心筋梗塞などの救急対応も担っています。また、心臓カテーテル検査など多職種と連携して行う検査・治療にも携わっております。

最近ではSPP(皮膚灌流圧)検査の検査数を増やしており、ABI(血圧脈波)検査に加え、重症下肢虚血の早期発見や術後の評価、透析患者さんの動脈硬化スクリーニング検査を行っております。

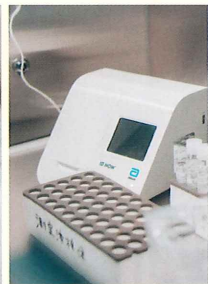


輸血業務

安全に輸血が出来るように、血液型の検査や血液製剤の適合試験は技師間でダブルチェックを行っております。

検体検査

24時間体制で検体検査業務を行っており、患者さんから採取された血液・尿・喀痰・組織などから臓器の状態や治療の経過を調べております。外来・救急ともに迅速で正確な結果報告に努めています。また、最近では新型コロナウイルスの検査やインフルエンザの検査も行っております。



臨床検査の担い手として、適切な検査情報の提供と管理を理念に業務に従事しています。

教育・育成のカリキュラムを充実させ、各分野の専門性を身に付け、患者さん本位の寄り添った医療の提供をするように心がけております。

文責／済生会富山病院 臨床検査科 臨床検査技師 橋詰 綾乃

新任医師のご紹介

外科

たにくち ゆうき
谷口 優希



【出身大学】富山大学

【経験年数】5年目

【専門分野】外科一般

【出身地】富山市

【座右の銘】人に優しく

【趣味】音楽鑑賞

【開業医さんへのメッセージ】

地域の先生方と協力し、よりよい医療を提供できるように努めます。

研修医

まつしろ ゆうき
松代 祐來



【出身大学】富山大学

【出身地】兵庫県

【座右の銘】千里の道も一歩から

【趣味】登山

【開業医さんへのメッセージ】

医師として一人前になるべく、努力していきます。よろしくお願い致します。



当院にご紹介いただく先生方へ……

医療福祉支援センターでは、ご紹介頂く患者さんの診察予約、検査予約を行っております。予約を行うことで、診療手続きが簡素化され、速やかな診察が可能となります。

診察予約の流れ

- 1 医療福祉支援センターへお電話ください。**
(直接、診察申込書をFAXしていただいても結構です。)
- 2 医療福祉支援センターで直接予約をお取りします。**
※医療福祉支援センターで判断ができない場合は担当医師に確認が必要なため、相談の上、予約させていただきます。
- 3 診察申込書をFAXください。**
確認、登録の上、予約票をFAXいたしますので、患者さんへお渡しください。

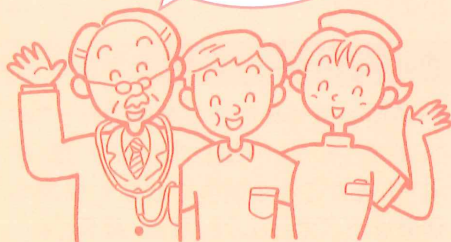
検査予約の流れ

- 1 医療福祉支援センターへお電話ください。**
- 2 医療福祉支援センターで直接予約をお取りします。**
- 3 診察申込書をFAXください。**
確認、登録の上、予約票をFAXいたしますので、患者さんへお渡しください。

検査予約時間	CT	心臓CT
	10:00~11:30 (火以外) 13:30~16:30 (月・水・金)	月 14:00~15:00 火 14:00~14:30 水 14:00~15:00 木 14:00~14:30 金 14:00~15:00
RI	8:30~11:30 (月・水・金) 13:30~16:30	
MRI	13:30~16:30 (月・水・金)	

※造影検査に限り、水曜日は予約不可となりますので、ご了承ください。

CT・MRI・RI検査
予約枠変更となりました。
ご了承ください。



富山県済生会富山病院 医療福祉支援センター

〒931-8533 富山市楠木33番地1 TEL 076-437-1120(直通) FAX 076-437-1131(直通)

ミッション(使命)

患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供

ビジョン(将来像)

- 地域住民の健康寿命の延伸
- 健康障害を抱える人々の生活の質の向上
- 働きがいのある職場環境の形成

バリュー(価値観)

- 医療の質向上をめざすこと
- 地域に貢献すること
- 自己研鑽と育成に努めること
- 健全経営をめざすこと

行動指針

- 私たちは 患者さんの立場にたつて行動します
- 私たちは 患者さんの権利を尊重します
- 私たちは 信頼される医療を提供します
- 私たちは 生活困窮者を支援します
- 私たちは 働きやすさとやりがいのある職場をめざします
- 私たちは 同心協力の心を大切にします
- 私たちは 法令・規則を遵守します
- 私たちは 自己研鑽に努めます
- 私たちは 次代を担う医療人を育てます
- 私たちは 安定した事業の運営をめざします

患者さんの権利と責務

私たちは、医療行為が患者さんと医療者との信頼関係の上に成り立つものであり、医療は患者さん中心であることを深く認識して、ここに「患者さんの権利と責務」を定めます

①患者さんの権利

- 個人としてその人格を尊重される権利
- 質の高い医療を公平に受ける権利
- 十分な情報を知り、説明を受ける権利
- 選択の自由と自己決定する権利
- プライバシーが守られる権利

②患者さんの責務

- 自身の情報を正しく提供する責務
- 療養に専念する責務
- 医療費を支払う責務
- 診療行為に協力する責務
- マナーや規則を守る責務